

研究課題「食道癌手術後の異時性胃癌（胃管癌）に対する実態調査」に関する情報公開

1. 研究の対象

2001年1月1日～2015年12月31日に食道癌術後の胃癌の診断を受けた患者さんが対象になります。

2. 研究目的・方法・研究期間

食道癌の手術では、食道を切除したあとに胃を持ち上げて再建することが一般的です、近年、手術後の胃に胃癌が見つかることが増えていますが、全国的な調査は行われておらず、治療法や治療成績などの実際はよくわかっていません。

食道癌の診療で中心的な役割を果たしている全国の施設からデータを集積して、解析することにより、食道癌手術後の胃癌に対する治療成績の向上を図ります。

研究期間は2021年3月31日までとなります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、喫煙歴、飲酒歴、食道癌の治療法と病理所見、胃管癌の治療法と病理所見、再発の有無、など。

4. 外部への試料・情報の提供

九州がんセンター内の全国胃管癌調査事務局へのデータの提供は、研究責任者が診療記録より収集し、CD-ROMに保存の上で郵送にて行います。収集したデータは、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 藤也 寸志 他

全国日本食道学会食道外科専門医認定施設 107施設

食道外科専門医認定施設一覧

https://www.esophagus.jp/files/certified_facilities.pdf

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院消化器外科二 清水 大

〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番

TEL：052-755-2249

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院消化器外科二 小池 聖彦

研究代表者：

独立行政法人国立病院機構九州がんセンター消化管外科 藤也 寸志